

E3・E10ガソリンと品確法に基づく取組

沖縄県内では、ガソリンにエタノールを混合したE3ガソリンが販売され、昨年からE10ガソリンも販売されています。E3・E10ガソリン等の燃料を安全・安心に使用できるようにするための取組について御紹介します。

E3・E10ガソリンとは

E3（イースリー）、E10（イーテン）とは、レギュラーガソリンに植物由来原料から作られたバイオエタノールを約3%又は約10%混合したもので、自動車（オートバイ、スクーター含む）用燃料としてJIS規格及び「揮発油等の品質の確保等に関する法律」（品確法）で規格が定められています。

沖縄県内では、主に沖縄産サトウキビの糖蜜から作られたバイオエタノールが混合され、ガソリン自動車用に消費することで、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの一つCO₂の排出量を削減することを目的に販売されています。

E10対応自動車について

現在、E3は一般の自動車であれば使用できますが、E10は、自動車の安



E10ガソリン用スタンド



指定燃料
無鉛ガソリン
バイオ混合ガソリン対応車
(E10/ETBE22)

全性や大気環境への影響の観点から、国土交通省が定めた保安基準を満たすことが認証された自動車に限定されており、品確法等の関係法令が改正された平成24年4月1日から使用



E3 ガソリン販売給油所

できるようにしました。

E10対応自動車には給油口の蓋の裏に、「バイオ混合ガソリン対応車」等の識別ラベルが貼付されています。E10使用の際は、必ず御確認ください。

製造・販売について

E3は、県内の南西石油株式会社西原製油所で製造・出荷（E10は県外から移入）され、平成25年1月時

点で、56の給油所（E10はうち4給油所）で販売されており、「沖縄バイオ燃料本格普及事業推進協議会」（委員長・知念榮治一般社団法人沖縄県経営者協会特別顧問が利用促進に取り組んでいます）。

安心して使用するために

ガソリン、軽油、灯油等を、日々の生活や経済活動に安心して使用することができるよう、品確法では、これら石油製品の品質規格を定めており、品質規格不適合品の販売禁止、ガソリン販売事業者に対する登録義務のほか、ガソリンを10日ごとに品質規格への適合を確認する品質分析義務等を課しています。

また、沖縄では、年間約59万kl（全国約1%）のガソリンが消費されていますが、経済産業省では、全国全ての給油所を対象として販売されているガソリン等を年2回以上の抜き取り検査を実施し、さらに、沖縄総合事務局経済産業部でも、品確法に基づき給油所へ立入検査を実施し、販売している全油種の抜き取り検査や品質管理体制等の検査を実施しています。